

いま、市民の皆さんは、東京都など、新型コロナが蔓延しつつある地域の状況を毎日テレビでご覧になり、島田でも市中感染が広がったらどうしよう、自分が感染したらどうしようと、不安に駆り立てられているのではないのでしょうか。東京都などの緊急事態宣言が出された地域は、予断を許さない極めて厳しい状況になっています。

まず、皆さんに知っていただきたいことは、東京都が感染蔓延期に入りつつあるとするならば、今の静岡県はまだ感染が徐々に拡大しつつある段階だということです。

島田市には、まだ一人も感染者は出ていません。しかし今、感染拡大の予防措置と医療体制を構築しておかなければ、1カ月後は現在の東京都と同じようになっているかもしれないのです。

今の島田市なら、感染拡大を防ぐ手立てを打つことができます。ぜひ、市民の皆様に、これからお話しする5つのご協力をお願いいたします。

- ① 三密の回避（密閉・密集・密接に人が集う場所を避ける）
- ② 手洗いやアルコール消毒の励行（れいこう）
- ③ マスクの着用 手作りの布マスクをしている方を大勢見かけるようになりました。
- ④ 感染拡大地域への不要不急の往来は、できる限り避ける
- ⑤ 感染拡大地域から帰省したご家族、あるいは別荘や実家に帰ってこられた方々などは、体調管理をしながら2週間の自宅待機 外に出ないということをお約束していただきたいと思えます。

先日は、榛原郡在住で静岡銀行島田支店に勤務されている方が新型コロナウイルス陽性と判明し、街中がこの話題で持ちきりになりました。それ以降、SNSによるフェイクニュース（いわゆるデマ情報）が市内にもかなり拡散しています。以前にも「お湯を飲めばコロナに罹らない」「カレーがコロナに効く」「トイレットペーパーがなくなるらしい」「市内にも感染者が出ている」「医療関係者を装ったメール」など、皆さんところどころにも届いているのではないのでしょうか。真偽のほどがわからない情報は、社会不安を助長させます。皆さんにお願いしたいことは、必ず、情報源を確かめていただきたいということです。むやみに次の人に拡散しないでください。繰り返しになりますが、今後、島田市でも一定数の感染者が出てくる可能性があります。だからこそ、正確な情報の入手に努めてください。

今後は、市内の正確な情報と島田市としての対応策を、直接、私から説明させていただくことで、市民の皆様にも正しく情報把握をしていただきたいと思えます。いまが、市内に感染拡大を防げるかどうかの瀬戸際です。市民一丸となって感染拡大防止にご協力していただきますよう、よろしくをお願いいたします。

これまで、帰国者・濃厚接触者・肺炎症状など、PCR 検査を受けた方はかなりおられますが、陽性反応が出たのは榛原郡の方、おひとりのみでした。つまり、繰り返しになりますが、市中に感染が広まっている状況ではありません。だからこそ、島田市内に市中感染が広がらないために、いま、行動を起こしていただきたいのです。

新たな取り組みとして、今週から、集団感染防止の対策を指導するため、老人福祉施設や障害者施設、放課後児童クラブ、学校などに、施設側からの要請があれば保健

師が出向き、指導することにいたします。クラスターを出さない対策が重要です。

妊婦や子育て家庭には、担当保健師から電話を入れ、一人暮らしの高齢者宅には看護師が訪問し、家庭でできる体操や感染予防について周知し、不安の軽減を図ります。

また、先週まで市役所玄関ホールで無料配布していた、除菌用次亜塩素酸水は、本日13日から市役所内の関係課でも配布しています。

更に、マスク不足につきましては、島田市として10万枚の発注をかけていますが、納入は6月以降になるという見込みです。これまで、市が備蓄してきたマスクは、医療機関・介護施設などに優先的に配布してまいりました。今後は、市民のマスク不足を補うために、学校休校中の給食調理員などに布製マスクを作製してもらい、必要な方々に配布してまいりたいと考えています。併せて、22日からは、手作りマスクを製作している障害者福祉施設などにご協力いただき、布製マスクの販売をいたします。また、材料と型紙は市が用意いたしますので、ご自宅でマスクの縫製を手伝っていただけるボランティアも募集します。

4月9日から4月22日までの、小中学校休校に合わせ、幼稚園・保育園・放課後児童クラブへも、できる限り、ご自宅でお子さんを見ていただけるよう、登園自粛要請をいたしました。休園していただいたお子様の4月分の保育料は、日割り計算をして保護者に返還させていただきます。

また、経済対策につきましては、さらに追加して市が独自で実施するものも含め、現在対策を検討しています。その内容については、近日中にお知らせいたしますので、もう少しお待ちください。

思い起こせば、感染症の大流行は過去にもありました。かつて日本で猛威を振るった感染症も、ワクチンや薬の開発と、先人たちの努力で克服できました。今回の新型コロナウイルスも、ワクチンや治療薬が開発されるまでに1年近くかかるかもしれませんが、それでも必ず、克服できる日は、やって来ます。この間に、市民が新型コロナに感染しないよう、致命的な医療崩壊が地方で起こらないよう、今こそ対策が求められているのです。

大昔から度重なる大井川の洪水と闘って、現在の繁栄を築いてきた島田市民です。その底力と団結力を、私は信じています。

とにかく新型コロナに感染しないように、一人ひとりが自分事として、先ほどお話した5つの行動を実践してください。よろしく願いいたします。